

参加費 無料

2022年度 日本語教育セミナー

考えさせる日本語授業の デザインと実践

日時：7月30日（土）13時30分～16時45分

場所：TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
カンファレンスルーム5A

定員：30名（会場内では**マスク**の着用をお願いします）

- 定員を上回る申込みがあった場合や、遠隔地からの参加希望が多い場合には、**対面**と**オンライン**（Zoom）のハイブリッド形式に変更

学習者の自己表現を引き出す工夫

横溝紳一郎（西南学院大学）

「やっていることに意義がある」と感じることは、**やる気**の向上と維持に大きな影響を与えます。日本語学習者の場合は、「日本語を使って本当の意味でのコミュニケーションをしている」、すなわち「相手を理解するために、日本語を読んだり聴いたりしている」そして「自分自身を表現するために、日本語を書いたり話したりしている」と感じる事が非常に重要です。本セミナーでは、学習者の**自己表現**を引き出す工夫をいろいろ紹介したいと思います。

教え合いと話し合いを通して考えさせる活動

小山 悟（九州大学）

グループで話し合いをさせても話があちこちに飛んで一向に深まらなかったり、ありきたりの結論で終わってしまうといった経験をされた方は少なくないのではないのでしょうか。筆者もその1人で、この問題を解決するために**ジグソー法**を用いた新たな教授法の開発に取り組んでいます。本セミナーでは「日本の国民食」をテーマにした上級者対象の実践を参加者の皆さんに実体験していただいた後、活動の考え方や授業デザインの**レシピ**などについてご紹介したいと思います。

主催：九州大学留学生センター小山研究室

本セミナーは科学研究費補助金「学習者の批判的思考を促す説明活動—デザイン実験による授業の設計と実践、評価」（2019年度～2021年度 基盤研究C）の交付を受けて行った実践研究の成果を広く日本語教育の関係者（特に現場の先生方）に知っていただくために企画したものです。

申し込み方法：右のQRコードにアクセスしてお申し込みください。アクセスできない方は koyama.satoru.188@m.kyushu-u.ac.jp にご連絡ください。

